

東京計器が2016年8月よりスポンサーシップ契約を締結している「無人輸送船プロジェクト（Donbura.co:ドンブラコ）」は、瀬戸内離島への無人輸送物流網構築を目的として「株式会社かもめや」が立ち上げたプロジェクトの1つです。





瀬戸内エリアにある人口100人に満たない小さな島々では、生活物資の輸送をチャーター船や自家用船、漁船に依存しており、日用品や医薬品の調達に多くのコストと時間が掛かっているのが現状です。

本プロジェクトでは、こうした社会的課題の解決策として自律航行機能を備えた小型無人艇による海上輸送に取り組んでいます。

去る2017年3月13日、「株式会社かもめや」が都内にて記者会見を行い、プロジェクトの進捗状況と実証実験の予定について発表しました。

今後、同社では2017年5月から11月にかけて「陸海空ドローンを使った物資輸送の実証実験」「離島に住まう患者への遠隔医療および医薬品定期配送の実証実験」を実施する予定であり、2020年の実用化を目標に活動していく予定です。

物流の効率化と無人化が社会テーマとしてクローズアップされる現在、「無人輸送船プロジェクト(Donbura.co:ドnbraco)」に対する期待もますます高まっていくことでしょう。

東京計器はこのプロジェクトを支援し、将来的には技術サポートも行っていく方針です。

株式会社かもめや <http://www.kamomeya-inc.com>



昨年12月に行われた有人船による性能試験の様